

平成26年度
S Pレコードコンサートを開催しました！

開催日時	11月1日（土） 午後2時～4時
場所	豊橋市中央図書館 3階集会室
総合プロデューサー	杉浦一朗さん
司会者	細井清美さん
使用機器	ヴィクトローラ・クレデンザ（1925年アメリカ製）
来場者数	142名

2014年11月1日（土）に今年で24回目となるS Pレコードコンサートを開催しました。当日は雨が降る中、142名の方にS Pレコードの音色を聞くため足を運んでいただきました。

このレコードコンサートは、中央図書館に所蔵がある1070枚のS Pレコード（神野コレクション）を使って、来館者にその音色を楽しんでもらうために始まったコンサートです。毎回テーマを決めて、テーマに合ったレコードを総合プロデューサーの杉浦さんに選曲していただきます。今回は「蓄音器とJAZZ」をテーマに、20世紀初頭アメリカでポピュラーミュージックの主流であった“ジャズ”を聞いていただきました。

前半はジャズを学びながら、スコット・ジョブリンやチャーリー・パーカーの「チュニジアの夜」などアメリカジャズ往年の名曲を聞いていただきました。L PレコードやC Dに収録されている曲もありましたが、S Pレコードで聞く音は一味違い、生演奏のような雰囲気を感じることができます。また、日本人シンガーとして江利チエミの「サニーサイド（明るい表通りで）」、美空ひばりの「上海」などを流したときには、懐かしいと感動してくださる方もいました。

休憩を挟んで後半はビリー・ホリデイの特集を、歌詞カードとともに楽しんでいただきました。英語で歌われている曲なので、意味を理解しながら聞くのは難しいですが、非常に面白い内容や表現の歌詞がでています。興味がある方は調べてみてください。



ゼンマイ式の蓄音器



休憩中の質問タイム

S Pレコードを専用の蓄音器で聞く、というこのコンサートにはたくさんのリピーターの方がいらっしゃいます。中には愛好家の方もいて、レコードコンサートの独特の雰囲気を楽しみにしている、と関東・関西から来てくださる方もいます。今回のコンサートでは、はじめて参加される方や、小さいお子さん連れの方も多く参加してくださっているのが印象的でした。よりたくさんの方にこの音色を聞いていただけるよう行事を考えたいと思いますので、これからもS Pレコードを利用したイベントにご期待ください。

参加者のアンケートより（自由意見抜粋）

- ・気持ちが良くて眠くなってしまいました。Jazzとアロマを同時にやって欲しいです。
- ・期待以上にいい音色で聴くことが出来よかった。
- ・子どものころよくレコードをよく聴いてましたので、なつかしくて音がとてもよかったです。
- ・クラシックの曲をもっと聴いてみたい。